



2021年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 AIメカテック株式会社
 コード番号 6227 URL <https://www.ai-mech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 阿部 猪佐雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 岡部 隆志 TEL 0297-62-9111
 定時株主総会開催予定日 2021年9月29日 有価証券報告書提出予定日 2021年9月29日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	16,105	10.9	1,010	115.9	911	129.8	696	139.1
2020年6月期	14,521	28.3	468	64.3	396	68.4	291	63.2

(注) 包括利益 2021年6月期 792百万円 (202.1%) 2020年6月期 262百万円 (65.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	123.75		9.8	4.9	6.3
2020年6月期	51.76		4.4	2.0	3.2

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 百万円 2020年6月期 百万円

(注) 当社は、2021年2月24日開催の取締役会の決議に基づき、2021年3月20日付で普通株式1株につき、50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	17,206	7,519	43.7	1,335.32
2020年6月期	20,049	6,727	33.5	1,194.59

(参考) 自己資本 2021年6月期 7,517百万円 2020年6月期 6,725百万円

(注) 当社は、2021年2月24日開催の取締役会の決議に基づき、2021年3月20日付で普通株式1株につき、50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	1,609	575	1,410	2,107
2020年6月期	2,389	603	2,489	2,471

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期		0.00		0.00	0.00			
2021年6月期		0.00		0.00	0.00			
2022年6月期(予想)		0.00		45.00	45.00		33.0	

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,089	6.1	1,179	16.7	1,120	22.8	767	10.1	136.23

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期	5,630,000 株	2020年6月期	5,630,000 株
期末自己株式数	2021年6月期	株	2020年6月期	株
期中平均株式数	2021年6月期	5,630,000 株	2020年6月期	5,630,000 株

(注) 当社は、2021年2月24日開催の取締役会の決議に基づき、2021年3月20日付で普通株式1株につき、50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2021年6月期の個別業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	16,133	11.4	968	116.4	868	132.5	664	150.4
2020年6月期	14,479	28.5	447	65.9	373	70.2	265	69.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期	118.03	
2020年6月期	47.13	

(注) 当社は、2021年2月24日開催の取締役会の決議に基づき、2021年3月20日付で普通株式1株につき、50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	16,953	7,237	42.7	1,285.18
2020年6月期	19,863	6,573	33.1	1,167.15

(参考) 自己資本 2021年6月期 7,235百万円 2020年6月期 6,571百万円

(注) 当社は、2021年2月24日開催の取締役会の決議に基づき、2021年3月20日付で普通株式1株につき、50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当連結会計年度の事業環境について

当連結会計年度における世界経済は、コロナ禍の中、ワクチンの普及による景気回復の兆しが見られたものの、変異株の流行や先進国と新興国・途上国とのワクチン普及の格差等から先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループの事業環境については、フラットパネルディスプレイ（FPD）市場、半導体関連市場ともに回復基調が続きました。FPD市場においては巣ごもり需要によりパネル需給が改善し、半導体関連市場においては次世代通信規格（5G）対応により需要が増加しております。

②当連結会計年度の業績について

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の受注金額は15,831百万円（前年度比35.8%増）、受注残高は11,656百万円（前年度比2.3%減）となりました。

当社グループの当連結会計年度の連結業績は、売上高16,105百万円（前年度比10.9%増）、営業利益1,010百万円（前年度比115.9%増）、経常利益911百万円（前年度比129.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は696百万円（前年度比139.1%増）となりました。

③セグメントの業績について

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

(I J Pソリューション事業)

中国メーカーが10.5世代の大型液晶ディスプレイ（LCD）投資により競争力を強化する中、韓国や台湾のメーカーは次世代ディスプレイの開発やパネルの高付加価値化・高機能化による差別化を図っています。当社は微細塗布などの技術を活かしたインクジェット装置の開発により、QD-OLED（量子ドット有機EL）、マイクロLED等次世代ディスプレイ向けの開発に取り組んでおります。また、インクジェット技術によるローコストプロセス実現を通じた用途の拡大や、車載分野や医療関連分野など新たな分野の開拓にも注力しております。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は2,352百万円（前年度比320.8%増）と大幅な増収となりましたが、セグメント利益は新技術・新製品の開発により費用が高んだため、30百万円（前年度はセグメント損失139百万円）に止まりました。

(半導体関連事業)

5G対応のためのスマートフォン向け高性能プロセッサの需要増、基地局・データセンターの活発な投資、テレワークや巣ごもり需要の増加等から、半導体の需要は拡大基調で推移しました。米中対立や新型コロナウイルスの感染状況等先行きに不透明感がありますが、半導体向けは今後も堅調な需要が続くものと思われれます。

こうした中、当社のはんだボールマウンタ装置の売上は大幅に増加し、当セグメントの当連結会計年度の売上高は3,714百万円（前年度比124.1%増）、セグメント利益は901百万円（前年度比155.1%増）となりました。

(LCD事業)

新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要で世界的にパネル需要は高まっており、韓国ではLCD製造装置の停止が延期され、更に中国ではLCD増設の動きすら出て来ています。反面、この需給ひっ迫が顧客の生産優先、設備の維持更新投資先送りへと繋がっており、メンテナンスを主とするLCS（Life Cycle Support）部門の売上が抑えられる結果となりました。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は10,038百万円（前年度比18.4%減）、セグメント利益は1,024百万円（前年度比5.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,136百万円減少し、14,746百万円となりました。主として、現金及び預金363百万円、棚卸資産2,585百万円それぞれの減少によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から377百万円増加し、2,232百万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から37百万円減少し、47百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から46百万円減少し、179百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から2,843百万円減少し、17,206百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,546百万円減少し、9,126百万円となりました。主として、仕入債務948百万円、短期借入金1,400百万円、前受金1,278百万円それぞれの減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ88百万円減少し、560百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ792百万円増加し、7,519百万円となりました。主として、親会社株主に帰属する当期純利益696百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、363百万円減少し、2,107百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、1,609百万円（前年度は2,389百万円の使用）となりました。資金の取得は、主にたな卸資産の減少2,595百万円、税金等調整前当期純利益981百万円によります。また資金の使用は、主に仕入債務の減少957百万円、前受金の減少1,280百万円によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、575百万円（前年度は603百万円の使用）となりました。資金の使用は、主に有形固定資産の取得による支出575百万円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資産は、1,410百万円（前年度は2,489百万円の取得）となりました。資金の使用は、主に短期借入金の減少1,400百万円によります。

(4) 今後の見通し

次期のFPD市場は、次世代ディスプレイ向けの新規投資やLCDの更新投資に加え、LCDの新規投資の動きもあり、総じて堅調な推移が見込まれます。一方、半導体市場につきましては、5GやIoT、AIに伴う情報通信技術の用途の広がりを背景に引き続き需要の拡大が見込まれています。

このような状況のもと、2022年6月期の連結業績見通しにつきましては、現時点では、売上高17,089百万円（前年度比6.1%増）、営業利益1,179百万円（前年度比16.7%増）、経常利益1,120百万円（前年度比22.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益767百万円（前年度比10.1%増）を見込んでおります。

※次期の業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、株主への剰余金の配当を安定かつ継続的に実施することを利益配分についての方針として位置付け、これを実践していく考えであります。

② 当期の配当

上記基本方針にかかわらず、当期に関しては内部留保の充実を優先し無配といたします。蓄積した内部留保資金を成長分野への投資に有効活用することで企業価値向上を図り、今後の株主に対する還元額拡大を目指してまいります。

③ 次期の配当

次期の配当に関しましては、上記基本方針に則り、期末に45円の配当を実施する方向で検討しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準により連結財務諸表を作成しております。今後のIFRSの適用につきましては、国内外の導入動向等に注視しつつ、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,471,594	2,107,755
受取手形及び売掛金	8,655,967	8,537,593
電子記録債権	3,436	8,606
製品	23,384	30,592
半製品	3,277,001	146,042
仕掛品	3,109,318	3,648,781
原材料	5,494	4,629
未収入金	292,800	223,230
その他	76,553	75,335
貸倒引当金	△31,708	△35,623
流動資産合計	17,883,843	14,746,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	315,985	306,784
機械装置及び運搬具（純額）	617,148	1,145,322
工具、器具及び備品（純額）	48,836	62,030
土地	656,000	656,000
リース資産（純額）	17,819	8,315
建設仮勘定	200,001	54,361
有形固定資産合計	1,855,792	2,232,815
無形固定資産		
ソフトウェア	84,420	47,415
その他	0	0
無形固定資産	84,420	47,415
投資その他の資産		
繰延税金資産	201,561	162,798
その他	24,370	16,682
投資その他の資産合計	225,931	179,481
固定資産合計	2,166,145	2,459,711
資産合計	20,049,988	17,206,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	2,921,167	2,261,330
買掛金	2,430,577	2,141,970
短期借入金	4,800,000	3,400,000
リース債務	10,462	7,757
未払金	268,603	143,052
未払費用	124,248	167,018
未払法人税等	88,331	212,210
前受金	1,719,770	441,549
賞与引当金	171,265	201,491
役員賞与引当金	27,600	32,300
製品保証引当金	46,247	60,396
その他	65,130	57,569
流動負債合計	12,673,403	9,126,648
固定負債		
リース債務	9,233	1,475
役員退職慰労引当金	23,854	32,862
退職給付に係る負債	615,921	525,783
固定負債合計	649,008	560,120
負債合計	13,322,412	9,686,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	4,215,238	4,215,238
利益剰余金	2,092,533	2,789,218
株主資本合計	6,757,771	7,454,456
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△29,630	16,108
退職給付に係る調整累計額	△2,580	47,305
その他の包括利益累計額合計	△32,210	63,414
新株予約権	2,015	2,015
純資産合計	6,727,575	7,519,886
負債純資産合計	20,049,988	17,206,655

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	14,521,324	16,105,197
売上原価	11,791,504	12,872,378
売上総利益	2,729,819	3,232,818
販売費及び一般管理費	2,261,714	2,222,341
営業利益	468,104	1,010,477
営業外収益		
受取利息	2,782	4,191
受取報奨金	—	3,000
助成金収入	800	—
還付加算金	686	338
その他	480	184
営業外収益合計	4,749	7,714
営業外費用		
支払利息	45,926	33,663
上場関連費用	—	32,523
為替差損	9,375	17,592
コミットメントフィー	11,307	16,683
その他	9,434	5,938
営業外費用合計	76,043	106,401
経常利益	396,810	911,790
特別利益		
受取保険金	240,424	—
訴訟関連収入	—	69,731
新株予約権戻入益	150	—
特別利益合計	240,574	69,731
特別損失		
災害による損失	217,403	—
特別損失合計	217,403	—
税金等調整前当期純利益	419,981	981,521
法人税、住民税及び事業税	158,700	267,904
法人税等調整額	△30,115	16,931
法人税等合計	128,584	284,835
当期純利益	291,396	696,685
親会社株主に帰属する当期純利益	291,396	696,685

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	291,396	696,685
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,635	45,739
退職給付に係る調整額	△18,459	49,885
その他の包括利益合計	△29,095	95,624
包括利益	262,300	792,310
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	262,300	792,310

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
当期首残高	450,000	4,215,238	1,801,136	6,466,374
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			291,396	291,396
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	291,396	291,396
当期末残高	450,000	4,215,238	2,092,533	6,757,771

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△18,994	15,879	△3,114	2,165	6,465,425
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					291,396
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,635	△18,459	△29,095	△150	△29,245
当期変動額合計	△10,635	△18,459	△29,095	△150	262,150
当期末残高	△29,630	△2,580	△32,210	2,015	6,727,575

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
当期首残高	450,000	4,215,238	2,092,533	6,757,771
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			696,685	696,685
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	696,685	696,685
当期末残高	450,000	4,215,238	2,789,218	7,454,456

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△29,630	△2,580	△32,210	2,015	6,727,575
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					696,685
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	45,739	49,885	95,624		95,624
当期変動額合計	45,739	49,885	95,624	—	792,310
当期末残高	16,108	47,305	63,414	2,015	7,519,886

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	419,981	981,521
減価償却費	164,659	248,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△889	1,592
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58,090	30,226
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,200	4,700
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△19,743	14,149
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17,571	△18,421
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,225	9,008
受取利息	△2,782	△4,191
受取保険金	△240,424	—
訴訟関連収入	—	△69,731
災害による損失	217,403	—
支払利息	45,926	33,663
新株予約権戻入益	△150	—
売上債権の増減額 (△は増加)	682,198	119,130
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△392,774	2,595,096
未収入金の増減額 (△は増加)	△276,672	70,137
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,052,229	△957,496
前受金の増減額 (△は減少)	△1,563,561	△1,280,432
未払金の増減額 (△は減少)	91,423	△130,963
未払費用の増減額 (△は減少)	△47,089	41,179
その他	△2,154	23,953
小計	△2,049,515	1,711,804
利息の受取額	2,782	4,191
保険金の受取額	240,424	—
訴訟関連の収入	—	69,731
災害損失の支払額	△217,403	—
利息の支払額	△45,856	△35,497
法人税等の支払額	△320,287	△140,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,389,857	1,609,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△603,410	△575,709
その他	△398	434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△603,808	△575,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,500,000	△1,400,000
リース債務の返済による支出	△10,373	△10,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,489,626	△1,410,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,819	12,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△517,858	△363,839
現金及び現金同等物の期首残高	2,989,453	2,471,594
現金及び現金同等物の期末残高	2,471,594	2,107,755

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「I J Pソリューション事業」・「半導体関連事業」・「LCD事業」を報告セグメントとしております。

「I J Pソリューション事業」の製品は、薄膜形成用インクジェット装置、ナノインプリント形成装置、フィルム貼合せ装置、ロールツーロール応用システム、有機ELパネル等製造用のダム塗布装置、フィル滴下装置等から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

「半導体関連事業」の製品は、基板用ボール印刷搭載システム等、半導体パッケージ関連応用設備から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

「LCD事業」の製品は、液晶パネルの生産工程で使われるシール塗布装置、液晶滴下装置、真空貼合せ装置、その他関連装置から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。共有資産については、各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。

③報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I J Pソリューション事業	半導体 関連事業	L C D 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	558,951	1,657,650	12,304,722	14,521,324	—	14,521,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	558,951	1,657,650	12,304,722	14,521,324	—	14,521,324
セグメント利益又は 損失(△)	△139,720	353,422	1,088,617	1,302,320	△834,215	468,104

(注) 1. セグメント利益の調整額△834,215千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費等△834,215千円であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	連結損益 計算書計上額 (注)2
	I J P ソリ ーション事業	半導体 関連事業	L C D 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,352,078	3,714,140	10,038,977	16,105,197	—	16,105,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,352,078	3,714,140	10,038,977	16,105,197	—	16,105,197
セグメント利益	30,653	901,615	1,024,811	1,957,081	△946,604	1,010,477

(注)1. セグメント利益の調整額△946,604千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費等△946,604千円であります。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

④報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	1,194円59銭	1,335円32銭
1株当たり当期純利益	51円76銭	123円75銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、前連結会計年度及び当連結会計年度における当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	6,727,575	7,519,886
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,015	2,015
(うち新株予約権)(千円)	(2,015)	(2,015)
(うち非支配株主持分)(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,725,560	7,517,871
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,630,000	5,630,000

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	291,396	696,685
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	291,396	696,685
普通株式の期中平均株式数(株)	5,630,000	5,630,000

4. 当社は、2021年2月24日開催の取締役会の決議に基づき、2021年3月20日付で普通株式1株につき、50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。